



日本共産党
北茨城市委員会
選挙区番号D302
43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週日曜日発行

依然つづく
きびしい経営

高萩・北茨城広域 工水企業団 議会開催

3月27日、高萩・北茨城広域工業用水企業団議会が開かれました。

企業長の村田市長は、あいさつで「昨年、中郷・赤浜工業団地に4社の誘致が決定したが、いずれも揚水型の企業ではなく、給水量の増加にはつながらず、企

業団の経営は依然としてきびしい」と述べました。昨年度までの企業債および借入金等の残高は約39億円に達し、営業収益での当年度未処理欠損金は13億4千万円になっています。07年度の予算でも、企業団の経費3億2000万円

に対し、給水収益は1億2833万円であり、不足分は北茨城市と高萩市からの補助金や出資金に頼らざるをえない状況です。07年度の両市の負担額は2億1258万円で、内訳は北茨城市が1億4641万円、高萩市が6617万円となっています。

毎年のこうした支出は両市にとって大変な重荷になっています。会議では、「工業団地の造成を推進してきた背景には県の責任もあり、県の財政的支援が必要」などの意見もだされました。なお、誘致が決まった企業は、染矢鉄工(07・9操業)、エヌエスティー(08・2操業)、大研(08・9操業)、能一産業(09・6操業)の4社で予想雇用数は53名となっています。

亀谷地湿原



ミズバショウが咲き始めた亀谷地湿原で、ボランティアの市民30名ちかくが参加し、維持再生のための作業がおこなわれました。雪や雨で2回も延期され、3月31日に実施。「北茨城山の会」の人たちの手で、展望デッキもほぼ完成しています。次回作業は秋の予定です。

中郷の海岸で大きな崩壊災害



崩壊した護岸と応急工事(中郷町下桜井)

本紙でも一部お伝えしましたが、中郷町下桜井(小野矢指の海岸線の侵食がすみ、その後、2月から3月にかけての高潮による影響で崩壊が大きく広がる災

害が発生しました。市によると、崩壊箇所は延長約140メートルで、数10メートル先には民家がある所もあります。最も被害のひどい下桜井地域(消防署付近)の海岸については応急工事が施されていますが、本格的な復旧工事はこれからです。

共産党市議団が県高萩土木事務所に問い合わせたところ「被害規模があまりにも大きく、県単事業でやるのは無理がある。

来週にも国の河川局に行つて災害事業として認定してもらおうと要望する。そのうえで、どのような工事方法で復旧するか検討する」とのことです。完全復旧までには長期間かかり、工事費用も相当額に達することが示唆されました。

先月の3月議会で福田明市議は「全国的に海岸線の侵食がすすんだのは60年代以降の高度成長時代からで、土木工事などのために膨大な砂が採取され、また河川にはダム建設が促進されたためである。本市の場合、大北川には小山ダム、花園川には水沼ダムがあり、高萩には花貫ダム、いわきの勿来には高柴ダムと四時ダムなど、付近の主要河川に

- 新人事 (敬称略)
- 市長公室長 高久利夫
 - 総務部長 根本一寿
 - 市民福祉部長 村田公夫
 - 環境産業部長 矢吹芳和
 - 都市建設部長 村田正春
 - 議会事務局長 村田滋芳
 - 教育次長 駒橋源四郎
 - 水道部長 横山友紀
 - 病院事務部長 大森廣幸
 - 消防長 青木久
 - 福祉事務所長 長瀬正則

ご相談はお気軽に



市議会議員
鈴木やす子
☎42-2462



市議会議員
福田 明
☎43-0468

「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>

編集部では身近な情報をお待ちしています。